

総合的な学習の時間

災害から自分たちの命を守ろう！

日時：2月9日（水）第6校時

学年・学級：1年1組（40名）

指導者：高本 希美

育成をめざす資質・能力：「課題発見解決力」・「思考力・判断力・表現力」・「主体性」・「自己理解」

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

本校では例年、総合的な学習の時間において地域人材を活用し、「防災学習」を中心に取り組んでいる。中でも、地域の防災士による講話や体験活動では、生徒の防災に対する関心を高めるとともに自ら考え行動できる力の育成の一助となっている。

実際に平成30年に起こった西日本豪雨災害では、本校が給水所となり、その際、本校の生徒や卒業生が率先して給水活動に尽力している。これらは、日々の学習が生きた出来事として今でも本校に語り継がれている。

本単元では、自分や家族・地域の人々の命を災害から守るために必要な準備や活動について扱う。

まずは、疑問や気づきをもとに課題を設定し、この問題を解決していくために必要な知識や情報を収集し、その蓄積した情報を他者と共有したり整理したりする。

次に、それらの情報から考えたこと・気づいたこと等をまとめ、他者へ伝える等、表現活動を行う。

これらの活動を通して、多角的な視点から自分（たち）にできることを考えさせ、実行しようとする姿を引き出したい。また、地域や学校が一体となって取り組んでいく必要があることにも気づかせ、自分たちの命を守る行動への考えを深化させたい。

生徒の実態

本学級の生徒は、小学校での総合的な学習の時間において、地域の特産物や防災について学び、郷土への興味関心を深めてきている。中学校では、防災を中心に学習を進めているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、防災キャンプなどの体験活動や地域の方々との行事が軒並み中止となっている。

そのため、これまでの授業や行事の運営等を見直し、ICT機器を活用した新たな学習を展開しているところである。

こうした中、9月のアンケート調査では、「課題設定の育成」に関し、「授業では、解決しようとする課題について『なぜだろう』『やってみたい』と思います」という質問項目では、77.1%であり、実際の授業の様子からも多くの疑問を抱いていた、挑戦したりする生徒の姿が見られた。

一方で「情報の収集」に関する質問項目で「授業では、課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりしています」という項目に対しては55.1%と低く、学習が進むにつれ十分な情報を得ようとするまま活動を進めている傾向が見られる。

学習の題材

本題材では、「防災」をテーマに自分や自分の周りの家族・地域の人々の命を守るという命題を与え、ICT機器を活用して必要な情報を収集したり、得た情報を整理して自分の考えを表現したりする学習を展開する。中でも、「新聞づくり」や「スライドによる発表」の活動を効果的に仕組むことで、生徒が相手（生徒や家族、地域の人）を意識しながら、主体的に学習を進めていくことが期待できる。

単元の目標

「近年多発している災害から、自分や周りの人の命を守る」という課題の実現に向けて、防災に関わる情報を発信する活動を通して、地域の防災に関わる人々の思いや願いと自分たちにできることに気づき、地域の一員として進んで行動しようとする態度を育てる。

2 問い

○本質的な問い

災害から自分たちの命を守るためにできることは何だろう

○単元を貫く問い

総合的な学習の時間

◎防災に関して必要な知識や準備は何だろうか

◎防災の情報を地域の人に伝えるために、自分たちにできることは何だろうか

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

個人での情報収集において、検索機能やドキュメント、整理・分析の場面で写真機能やジャムボード・ドキュメント、まとめ・表現の場面でスライド等の機能を使用する。また、外部へのインタビューや講義に Meet 機能を使用し、校内での活動、リモートでの活動の両面から、活動の充実を図る。

○思考ツール

課題発見の場面でイメージマップ、情報や意見を比較・分類・整理する場面や評価の場面で PMI シート等、必要に応じて効果的に活用する。

3 単元の評価規準 (ルーブリック)

資質・能力	B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
【課題発見解決力】	問いや答えを見つけたり、問いを更新したりする中で、答えを追究している。	多くの情報を精査し、問いや答えを見つけたり、問いを更新したりする中で探究し、答えを追究している。
【思考・判断・表現】	追究した課題について、目的に合う方法で思考し、相手に伝わるように自分の考え表現している。	追究した課題について、目的に合う方法で筋道立てて思考し、相手に伝わるように自分の考えと根拠を表現している。
【主体性】 【自己理解】	自分で課題を決めて、目的に合うよりよい方法を選択して、社会と関わり課題解決しようとしている。	自分で課題を決めて、自己の特性や目的に応じた計画を立てたり、目的に合うよりよい方法を選択したりして、社会と関わり課題解決しようとしている。
【知識・技能】	新たに獲得した知識・技能を統合し、実社会・実生活の中でも自在に活用している。	他教科で獲得した知識・技能と新たに獲得した知識・技能を統合し、実社会・実生活の中でも自在に活用している。

4 指導計画（全時間 本時 36 / 36）

	探究の過程 資質・能力	学習活動（時数）	評価方法
テーマ決定・課題の設定・探究	<p>情報の収集 整理・分析</p> <p>主 思</p> <p>表</p> <p>課題発見</p> <p>課題の設定</p> <p>主</p> <p>情報の収集 整理・分析</p> <p>主 思</p>	<p>○ジャムボードやイメージマップを活用し、防災に関する課題を出し合い、発想を広げる。グループごとに探究していく課題を決める。（4）</p> <p>○全体の課題を設定する。（2）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>探究課題：災害から自分たちの命を守るためにできることは何だろう</p> </div> <p>○それぞれの問いについて、本やインターネットで調べたり、保護者にインタビューをしたりして情報を集め、わかったことを交流する。（8）</p> <p>○防災士の方や三原市の環境課の方々から、防災に関する講義を受け、課題解決に必要な情報を得たり、聞きたいことを質問したりする。（2）</p> <p>○防災士の方や三原市の環境課の方々から話を聞き、聞いたことを整理して、まとめる。（2）</p> <p>○新聞作りのコツを中国新聞社の方から学ぶ。（Meet にて）（2）</p> <p>○今までの取り組みをグループでデジタル新聞にまとめ、自分たちができることについて交流し、感想を伝え合う。（6）</p> <p>○作成したデジタル新聞を文化祭で掲示し、読み合う。（1）</p> <p>○防災ミニキャンプに参加し、避難所生活について体験する。（2）</p>	<p>・イメージマップ</p> <p>・ジャムボード</p> <p>・ワークシート</p> <p>・行動観察</p>
探究・活動のまとめ	<p>まとめ・表現</p>	<p>○収集した情報を整理し、避難所生活の体験活動から得た気づき等をスライドでまとめ、学級の中で発表する。（4）</p> <p>○学級でのスライド発表においてコンテストを行い、各クラス1グループずつ選び、選ばれたグループは文化祭にて全校生徒の前で発表をする。（2）</p>	<p>・行動観察</p>
活動のまとめ・評価・課題の設定	<p>課題の設定</p> <p>主 思</p> <p>課題発見</p>	<p>○今年度の学習を振り返って成果や課題をまとめ、来年度につながる探究課題を更新する。（1）【本時】</p>	<p>・行動観察</p>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

本年度の学習を振り返り、来年度は「防災」に関してどのようにして社会と関わっていくのか見通しを立てることができる。

(2) 本時の評価規準

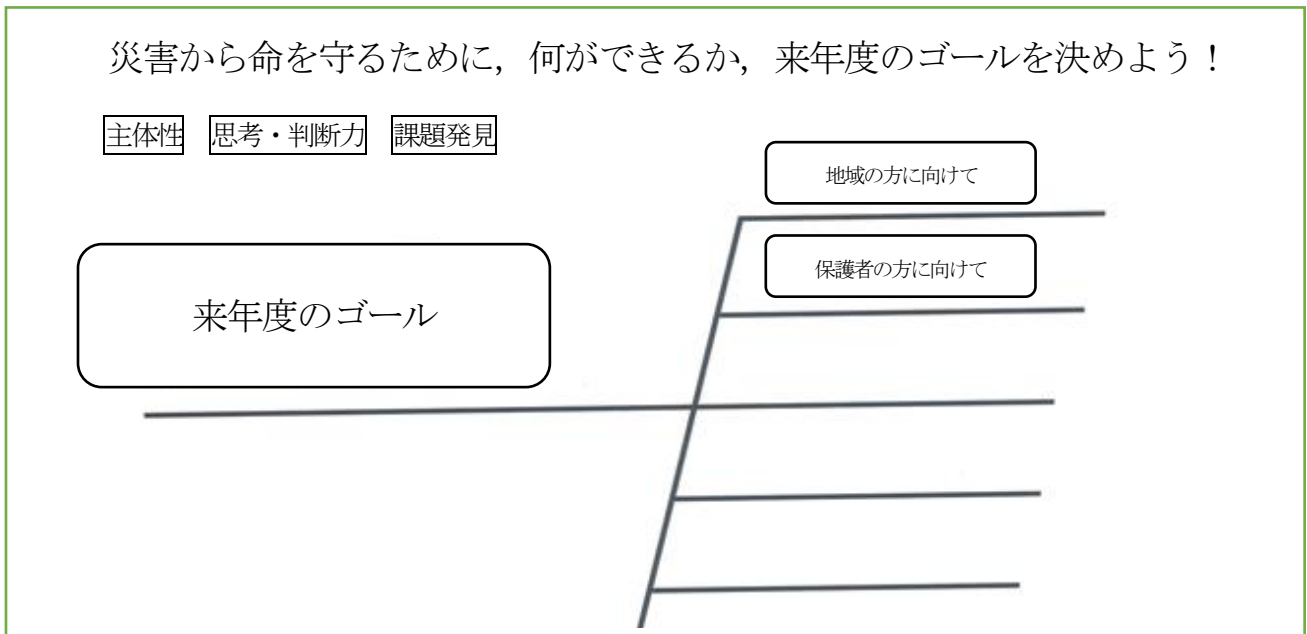
問いや答えを見つれたり問いを更新したりする中で、探究の過程を評価するとともに、答えを追究している。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ☆評価
課題の設定 10分	<p>1 今までの学習を想起する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きるメカニズムや災害から身を守るために日頃からできることについて調べた。 ・三原市環境課の方や防災士の方から防災について学んだ。 </div>	<p>○1学年の総合的な学習の時間で取り組んだ学習内容を想起できるよう視覚的な資料を提示する。</p> <p>・今までの学習の振り返りをフォームで行い、来年度に向けて取り組みたいことや身に付けたい力等を可視化する。</p>
	<p>災害から命を守るために、何ができるか、来年度、取り組みたい活動を決めよう！</p>	
	<p>2 探究の過程、本単元で育成をめざす資質・能力を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見解決力 	<p>○本時の課題を確認した上で、探究の過程と主に育成をめざす資質・能力を確認する。</p>
表現 15分	<p>3 個人が考えた「来年度のゴール」を出し合い、班で検討する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>来年度に向けて考えたことを発表しよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員として校内だけでなく、地域の人たちにも向けてHPづくりやビデオ作成をして情報発信しよう。 ・保護者の方や地域の人に向けて、文化祭で「防災」をテーマにした劇をしよう。 ・三原市の人に向けた「防災パンフレット」を作成し、市長に送ろう。HPに載せてもらえば地域の人が参考にできる。 ・小学校の後輩に向けて「防災に関わる」プレゼンテーションをしよう。 ・大学の先生をお呼びして、「防災ゲーム」に挑戦してみよう。そこで学んだことを地域に発信しよう。 </div>	<p>○考えを可視化し整理するために、くま手チャートを活用して考えをまとめさせる。</p> <p>・考えが思い浮かばない生徒には、今までに作成したデジタル新聞やスライド等を参考にさせる。</p> <p>・2・3学期の学習活動である「国際理解学習」や「SDGsに関する学習」との関連も想起させる。</p>
整理・分析	<p>4 班で出た意見について全体で整理する。</p>	<p>○来年度、挑戦したい取組についてグループで話し合わせる。</p>

15分	<p>みんなの意見を聞いて、質問や意見はありませんか。また、これからどのように活動していきますか。</p> <p>○来年度は2年生なので、職場体験学習ができるかもしれない。地域の人との関わりを生かそう。</p>	<p>☆問いや答えを見つけたり、問いを更新したりする中で、探究の過程を評価し、答えを追究している。 (観察、ジャムボード)</p>
まとめ・表現 10分	<p>5 本時の活動について振り返る</p> <p>今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の総合的な学習を振り返ることで来年度の学習の見通しを持つことができた。 ・相手に伝える方法や手段について様々な方法を考えることができた。 ・伝える相手や目的に沿って表現の方法や手段を決める必要があると分かった。 ・今年度集めた情報から、私たちの地域や実態に合った情報を取捨選択していく必要があると気づいた。そのためには、地域の人や家族へのインタビューが有効そうだ。 	<p>☆意見を整理することやこれからの活動につなげることのポイントを自分なりに考えまとめている。(ワークシート・行動観察)</p> <p>○振り返りに記入させることで、本時の学習や資質・能力について、身に付いた力を自覚させる。</p>

(4) 板書計画



大型テレビ

①今年度の「総合的な学習の時間」を振り返るスライド
②生徒のジャムボードを掲示
(思考ツール「くま手図」の活用)

